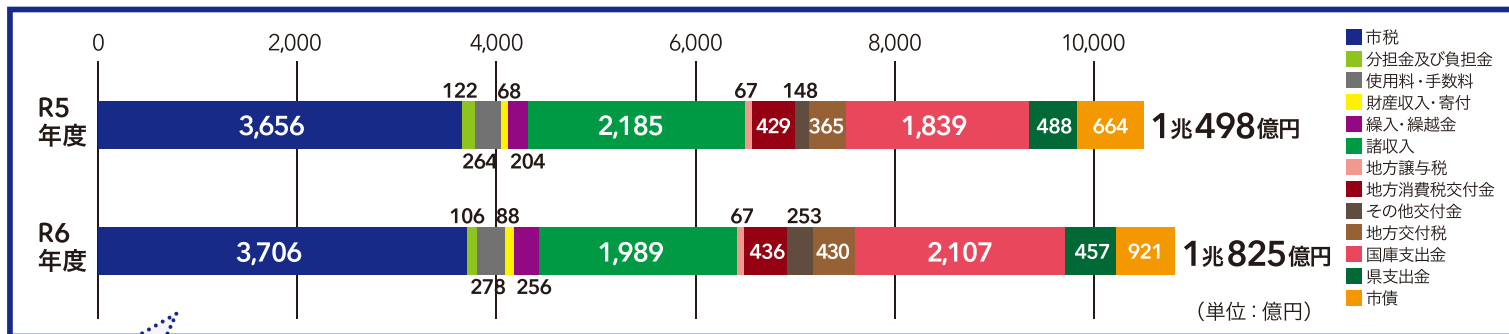


# 福岡市 令和6年度 一般会計予算の概要

教育や保育への支出の増加や物価高騰緊急支援給付金等により、一般会計の予算規模は令和5年度当初に引き続き1兆円を超え、過去最大の1兆825億円となりました。

## 歳入



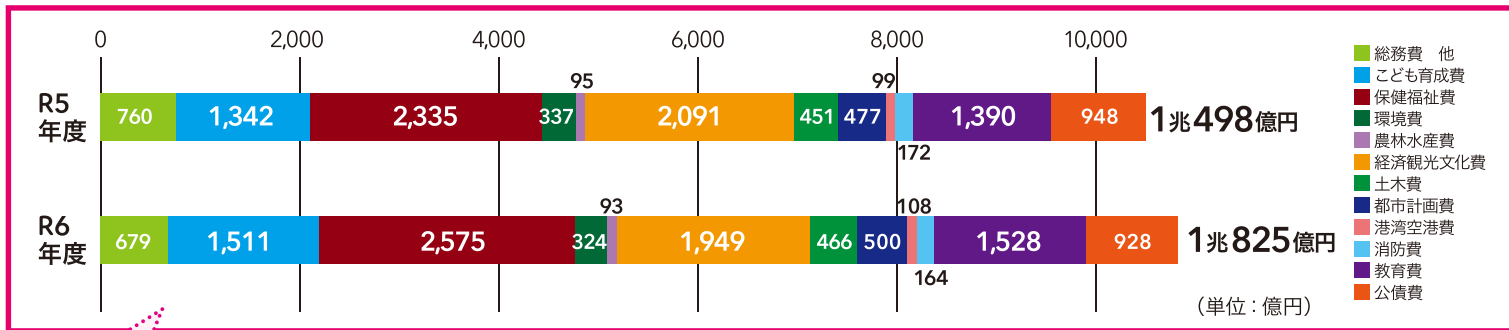
### ◆一般財源の確保について

市税収入は過去最高の3,706億円で、企業収益の改善に伴う法人市民税の増、土地評価額の上昇等に伴う固定資産税の増などにより、令和5年度当初予算と比較すると50億円増の見込みです。個人市民税については、納税義務者数等は増加するものの、定額減税の影響により減少する見込みです。一方、定額減税による減収分の補填のため、地方特例交付金が93億円増となることから、一般財源の総額については令和5年度と比較して約132億円増の5,127億円となっています。

### ◆市債の発行と残高の推移

令和6年度の市債発行見込み額は、600億円で、令和5年度と比べ64億円の減額となります。市民一人あたりの市債残高(臨時財政対策債を除く)は約90万円で、平成16年度末から95万円減少し、残高ピーク時の半分を下回る見込みです。

## 歳出



### ◆物価高騰対策や、子育て関連施策を強化

「保健福祉費」は、物価高騰緊急支援給付金160億円の増や、障がい福祉サービス関連に43億円増など、令和5年度と比較して240億円増の2,575億円。また、「こども育成費」は児童手当の拡充(+40億円)や、就学前児童の教育・保育に係る給付費(+34億円)など、令和5年度に比べ169億円増の1,511億円で過去最大となりました。「教育費」については、箱崎中学校の移転関連費用85億円増の影響や教職員給与等の増(+47億円)などにより、令和5年度に比べ138億円増の1,528億円となり、同じく過去最大となっています。

## 令和6年度 新規事業や拡充事業についてお知らせします

★新規事業 ●拡充事業

- 防犯カメラ設置助成台数の拡大
- 路上喫煙対策の強化(天神・大名・博多駅周辺)
- 共創補助金の拡充(各校区10万円増)
- ★こども誰でも通園制度の実施
- 多胎児(双子など)世帯への支援を拡充
- ★児童発達支援センターでの一時預かり開始
- ★学びの多様化学校(不登校特例校)の整備
- 教育支援センターの全区展開
- ワンコイン歯科検診の対象に、25歳・30歳を追加
- ★各区で出張ひきこもり相談会の開催
- ★違法民泊ゼロプロジェクトの推進
- 飼い主のいない猫等の不妊去勢手術対応拡充
- ★空き家を活用した地域福祉の推進



- ★介護サービスのDX推進を支援
- インクルーシブな子ども広場整備(西南杜の湖畔公園、桧原運動公園、東平尾公園整備)
- 地下鉄の車両更新・増備(R9までに6本増)
- 福岡空港第2滑走路の供用開始
- 花粉発生源(スギ・ヒノキ林)対策の推進
- 天神の拠点文化施設(市民会館)開館(R7.3)
- ★中央市民センター大規模改修設計着手
- ★東体育館・早良市民プール改修工事
- ★早良区南部に新たな多目的グラウンド整備を計画
- ★南区における地域交流センターの検討開始
- ★アイランドシティに消防出張所を新設
- ★燃えるゴミ10ℓ用指定袋の試行導入



## 福岡市議会議員(西区)

た なか 崇史  
**田中たかし**

議会通信 vol.22 (2024年春号)



田中たかし市政相談所

〒819-0378  
福岡市西区徳永北14-27 1F  
092-407-6236  
tanakatakashi.office@gmail.com



Facebook



ホームページ

プロフィール

福岡市議会議員(2期目):福岡市民クラブ政調会長、総務財政委員会委員、議会運営委員会委員 他  
福大大濠高校卒業、拓殖大学卒業、法政大学大学院修了、国会議員政策秘書 等

令和6年度  
予算審議

## 反対討論で登壇!

用語解説

討論とは...

議案に対し賛成か反対かの自己の意見を表明すること。福岡市議会では会派で行い(無所属議員も可)、予算議会では、次年度の会派の方向性も含め市政運営に対して意見要望を訴える場となる。

### 福岡市の令和6年度一般会計予算案は約1兆円。

この巨額の税金をどのように使うのか、その審議が予算審議です。福岡市民クラブは必要性がない事業があると判断し、一般会計予算案に反対しました。ただ反対だけでなく、「修正案」も提出。他議員の賛同を得られず否決されましたが、最終日には会派を代表して、反対討論を行いしっかりと意思を示しました。

### 福岡市の予算案のどこに問題があったのか? (討論の内容)



#### 「福岡城幻の天守閣ライトアップ事業」は必要ない!

今年の3月27日から5月31日まで福岡城の天守閣を再現し、ライトアップがされます。しかし、福岡城に天守閣があったのか否か、依然として判明していません。存在が確認されていないものを想像で作り上げ、宣伝するのは市民に対して誤解を与えることとなり、国家的文化財である福岡城の権威を落としかねません。また、期間限定のイベントなので毎年のように「作る壊す」を繰り返すこととなります。このような事業に数千万円かけるのではなく、同じ税金を使うなら、福岡城の調査研究への支援などにすべきです。事業の中止のための減額修正案を提出しました。



#### 警固公園地下駐車場跡地はアジア美術館ありきではいけない!

警固公園地下駐車場が2026年3月末で閉鎖されますが、その跡地利用として「福岡アジア美術館」の新たな展示スペースとすることが検討されており、その調査費として経済観光文化局に約3,000万円が計上されています。しかし、天神という都心部の土地利用については、多角的総合的に検討されるべきであり、「アジア美術館」ありきの調査は手順が違います。今ある都心部の課題解決なども含めて、どういった活用をするのが市民にとっての最大の利益となるのか都市計画を所管する住宅都市局が調査すべきとし、こちらでも予算修正案を提出しました。

### その他にも、福岡市事業の課題点を明らかにしました

#### おむつ安心定期便

- 2024年問題がある中、市が年間約35万件の宅配を依頼するのは疑問。
- 「子育て家庭の孤立化を防ぐ」という事業目的を果たせていない。

#### 習い事応援事業

- 使用により「生活困窮者」ということが周囲に露呈。プライバシーへの配慮が足りない。
- 対象者の範囲が狭い。就学援助世帯まで拡大すべき。

### 最後に、会派の覚悟と決意を語る! (討論より抜粋)

地方政治は二代表制制というもの、予算編成権を持つ市長の方が権力は絶大。だからこそ議会は、多様な民意をくみ取り、付与された権限を十二分に活用し、首長と対峙しなくてはなりません。福岡市民クラブは令和6年度予算案に対して、精査を重ねた上で修正案を提出いたしました。これも全て、市民にとって利益とならない事業を決して認めるわけにはいかないとの強い思いによるものです。本市の市政が発展していくために取るべき方策は何か、我が会派はこの点をまず第一に考え、今後も市長の提案に対して、いいものはいい、悪いものは悪いと、正々堂々と訴えていきます。

